ロブストス高垣の 今日も一丁あがり♪

第4話 超特急でコーンハーベスターのフィードローラーを複製せよ！の巻

皆さん、こんにちは！　八ヶ岳で開催された「第2回日本サウナ祭り」に参加し、薪サウナと湖（水温2℃）で心身を完璧に〝ととのえて〟まいりましたロブストス高垣です。本場フィンランドのサウナカルチャー、思い出すだけで汗をかいてしまうほど、究極のリフレッシュタイムでした（笑）。さて、今月はなんと言ってもロブストス初の研修生の話をしないわけにはいきません。その男は僕の農業経営者セミナーの講演を聴きに来てくれた東京農業大学の1年生。農家の7代目で、19歳にして就農後の将来像を想定しながら学生生活を送る農業界の若きホープ、S田君です。卒業するまでに農業機械とモノづくりの勉強をしたいと連絡をくれたんです。モチのロンでOK牧場‼　研修期間は1週間。共同生活をして、協力工場を訪ねたり、仲良しディーラーのお手伝いに行ったり、非日常的で興奮続きの時間になったようです。S田君のこれからの農家人生の力になれたら嬉しいですね♪　メチャクチャいいヤツでした。S田君をはじめ、若者の刺激になれる存在でありたいですね。ということで！今月はガチな製作案件をご紹介しましょう♪


写真1：すり減って穴の開いたフィードローラー


写真2：加工途中のパイプとフランジ


写真3：バッチリ仕上がったフィードローラー


高垣達郎（たかがき・たつろう）
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に㈱ロブストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。㈱ロブストス・代表取締役社長。

後工程に気を配る設計がカギに

今回は大手農機ディーラーさんから届いた超特急の依頼でした。「メーカーの納期が1カ月以上かかってしまう。でも、1日でも早く使えるようにしたい」という要望のフェラボリ社製コーンハーベスターの刈り込み部フィードローラーの複製です。

ヨッシャ、本気でいきましょう。

1日目は加工屋さんの日程調整からスタート。製図を進めながら、材料を調達します。パイプ材が最もネックになるので最優先で発注。摩耗度合から寸法を予測するのですが、純正よりも分厚く丈夫な材料を選択しときましょう。フランジ部分の材料は材料屋さんに即行で切ってもらい、翌2日目に旋盤加工へ。3日目は、フランジをワイヤーカット加工に回して、六角穴を抜くと同時に、パイプ材が手元に届いたのでこちらも旋盤加工へ。4日目は、部品の溶接作業に。フランジの六角穴と六角シャフトのクリアランスは0・2㎜で設計したのですが、シックネスゲージを2セット用意して、0・2㎜ゲージを治具代わりに挟み込んで位置を出し、バッチリ仕上げました。ババババッと4日間で完成からの、納品～～～♪

【今回の工程はコチラ】

①パイプ材料とフランジ材料を発注
②フランジを旋盤加工
③フランジに六角穴をワイヤーカット加工
④パイプを旋盤加工
⑤パイプとフランジを溶接

後工程に気を配る――これは製造業の鉄則です。それぞれの作業をイメージして、製作に関わる人たちが楽に正確に作業できるような設計が、特注短納期の同時並行的な流れ作業を実現します。こうした依頼を瞬時に判断して、ほかの案件をこなしながらマネジメントするのが私の仕事でもあります。ということで、**今日も一丁上がり～～～♪**


写真4：修行に来たS田君を囲んで